

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

11 vol.5



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑

11 vol.5

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ロータリー財団月間／世界インターアクト週間	1
ロータリー財団月間によせて	2
世界インターアクト週間によせて	3
地区ロータリー財団 セミナー報告	4
青少年交換来日学生一泊研修会	6
新世代奉仕正副委員長会議報告	7
地区大会へのお誘い	8
地区協議会 会計報告	9
米山奨学委員会	10
ロータリー財団	11
災害支援プロジェクト報告	12
2011年9月度 会員数・出席報告	14
お知らせ／文庫通信	15

敬弔



11月はロータリー財団月間です。地域においては一大事業の地区大会が11～12日に開催されます。

さて、TRFはロータリー財団 (The Rotary Foundation) の略ですが、1917年第6代RI会長アーチ・クラフが「世界のためにより良いことをしよう」と全世界に呼びかけて「基金」が設立されました (最初は\$26.50)。これは、ロータリアンが世界で人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成出来るようにすることを目標にしたものです。それ以降、90余年経過した今、TRFの資産は1928年の\$5,739から\$7億になっています。ロータリー財団の発展の礎となったのは、ポール・ハリスの死を悼むロータリアン達の熱い思いによるものです。

ロータリアンが奉仕活動に提供した資金は\$20億、マッチング・グラントは29,000件以上、そして1947年に国際親善奨学金を設立し、今日まで115ヶ国以上の国から47,000人以上の奨学生を援助しており、民間団体では世界最大規模の奨学金を提供しています (金額ベースで\$4億7,600万)。

そして、ロータリアンと国際ロータリーとロータリー財団は、トライアングルの緊密な関係を保っています。ロータリー財団がこれほど効果的なのは、資金と人との絶妙な組合せによるものです。「金だけではたいしたことは出来ない、個人の奉仕は金が無ければ無力である。」

ロータリー財団は2017年に創立、100周年を迎えるにあたり、奉仕の第二世紀に移行するための計画を立てています。創立以来、プログラムにほとんど変更を加えることがありませんでしたが、ここに来

て、効果的で効率の良い支援方法を編み出しました。それは未来の夢計画と呼ばれるもので、私の年度はその準備年度と位置付けられました。

未来の夢計画は、プログラムと運営を簡素化すること、意思決定を地区に移行することにより、地区レベルとクラブレベルでR財団が自分達のものという自覚を高めること、R財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること等を目的としています。

次に、RI理事会は、11月5日を含む1週間 (月曜日から日曜日) を「世界インターアクト週間」として、世界中のロータリークラブとインターアクトクラブに国際規模の顕著な共通活動に参加してもらうことを目的としています。

すなわち、ロータリアンとインターアクターの高校生とが合同で国際的な活動に参加してもらおうというものです。言うまでもありませんが、インターアクトクラブは12才～18才までの若い人を主体とした奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で、共に活動する機会を青少年に与えるために結成されたクラブです。インターアクトクラブは、1年間に2つの奉仕プロジェクトすなわち、1. 学校や地域社会に貢献するもの、2. 国際理解を深めるものです。

さらに、四大奉仕部門から五大奉仕部門と新世代奉仕部門が注目されるようになり、インターアクトを始めとした新世代奉仕プログラムの重要性はこれからますます高まることになります。

この期間が設けられている意義を各クラブにおいて再考されることをおすすめします。



★ロータリー財団月間

- それは ロータリー財団とは何かをもう一度考えてみる月
- それは ロータリー財団プログラムについて知識を深める月
- それは ロータリー財団の輝かしい歴史(実績)を振り返る月
- それは 私たちとロータリー財団プログラムとの関わりについて考える月
- そして ロータリー財団の恩恵を受けているのは私たちが、ロータリー財団をどう支えるかを考える月です

★ロータリー財団月間には

クラブ財団委員会が中心となって、①財団フォーラム ②ロータリー財団のプログラムについての卓話 ③情報集会 などを通して理解を深めて下さい。

1. ロータリー財団のおおまかな歴史

【1917年】RI第6代会長アーチ・クランフがアトランタの国際大会で「基金を作り、世界的規模で慈善・教育・その他社会的奉仕の分野で何か良いことをしよう」と呼びかけたことに始まります。

【1928年】基金が集まり「ロータリー財団」と名付けられ国際ロータリーとは別機関として歩み始めました。

【1947年】ポール・ハリス没。この年多額の寄付金がロータリー財団に集まりました。この年初めて国際親善奨学生が派遣されましたが、これがロータリー財団プログラムの第1歩でした。

【1965年】マッチング・グラントの前身がスタートしました。このあと35年間かかって、2000年にマッチング・グラントの申請件数は1万件に達しましたが、この後はたった4年間でそれは1万件に達してしまいました。

【1985年】ポリオ・プラス・プログラムが発足しました。

【2005年】ロータリー財団「未来の夢計画」FVP: Future Vision Plan 構想が始まりました。

【2010年】ポリオ撲滅のための「ロータリー2億ドルのチャレンジ」が始まりました。また7月から3年計画で世界100地区によるFVPのための試験期間が開始されました。

【2013年】「未来の夢計画」FVPによる新しい補助金制度が開始されます。

2. ロータリー財団はロータリアンからの寄付金が、最

も効果的にロータリー財団の目的に沿った形でロータリアンによって利用されるために、財団プログラムを提供しています。

3. 財団プログラムとは

- ①ポリオ・プラス (ポリオ撲滅活動) : ロータリー2億ドルのチャレンジ
- ②人道的プログラム
 - i. 災害支援 例: ロータリー東日本震災復興基金
 - ii. 地区補助金
 - iii. マッチング・グラント
- ③教育的プログラム
 - i. 国際親善奨学金
 - ii. 研究グループ交換 (GSE: Group Study Exchange)
 - iii. ロータリー平和フェロウシップ

ロータリアンは、これらのプログラムに積極的に関わることが大切です。関わることによって寄付金が如何に有効利用されているかが、見えてきます。

4. ロータリー財団は皆様の寄付金で成り立っています。

ロータリー財団が無ければ、私たちは効果的な奉仕活動を行うことが出来ません。私たちの寄付金が無ければ、ロータリー財団プログラムは存在し得ません。互いに支え合う存在です。

5. ロータリー財団への寄付は公益財団法人ロータリー日本財団を通して行えば、税制上の優遇措置が受けられます。(現金振込みに限る)

6. ロータリー財団への寄付

- ①年次プログラム基金 (年次寄付) 年間150ドル以上
- ②恒久基金 毎年1クラブ1名以上
- ③使途指定寄付 (ポリオ・プラスや災害復興基金への寄付)

いずれも通過寄付で、ロータリー財団に貯蓄はされません。

ポリオ・プラスへの寄付は全てGPEI (Global Polio Eradication Initiative) に投入されます。GPEIはRI, WHO, UNICEF, CDCにより構成されています。各国政府の支援金もGPEIに投入されます。

7. これから私たちは2013-14年度から始まるFVPに基づく新補助金制度について研修を重ね、習得する必要があります。

世界インターアクト週間によせて これからのインターアクトクラブ

インターアクト委員会

委員長 奥田 吾朗 (大阪RC)



今年の地区のインターアクトクラブ行事も残すところ年次大会のみとなりました。8月に行われたマレーシアの海外研修も「日本を知る。アジアを知る。世界を知る。」という目標のもと5日間の研修を無事終えることが出来ました。これもひとえにサポートいただいた岡部Gをはじめ、各RCおよび地区の皆様のおかげと感謝しております。

島国で育つ我々にとって、異文化を知る機会を出来るだけ多くの子どもたちに与えることは、とても大事であり、インターアクトクラブ(以降IAC)要覧にある「IACは、社会奉仕と国際奉仕の2本柱の活動を通して、リーダーの育成や国際人としての様々な力を身につけることを目的とする」に合致しています。

しかし、一方で地区IACの存続が危機に直面していると警鐘を鳴らさざるを得ません。直面する課題は、大きく2つあります。

学校の抱える問題とRCの抱える問題の2つが起因となって、運営が困難になりつつあります。IACは、学校が主体の活動です。そのため学校が魅力を感じる中身であれば、RCの活動として、これまでどおり主軸のひとつとして存在できます。しかし、予算のカットなどが続き、ある限度を超えてしまうと各学校からやめたいという声が出てくる恐れは十分にあります。現在、私立学校との提携がすべてですが、私学の経営状況悪化も今後、重要なポイントとなってくるでしょう。

地区のIACを存続させることを決めるのであれば、最低限の校数および予算を決めておく必要があります。また、法人に対するCSRが厳しくなる中で、活動の中身を再確認するその時期がきています。

会員数の減少と予算の減少は、取り組むべき課題ですが、抗いようのない事実です。しかし、一方で、予算一律カットという安易な予算組み立ては、組織存続の臨界点を越えてしまうことにつながります。今年度は、岡部Gのご理解のもと、ご支援いただきました。しかし、学校が主体のIACは、どの委員会よりも最初に問題が顕在化することは間違いありません。地区、RC、そして各会員がIACの活動をしっかりと考えなければならない時期が来たのではないのでしょうか。これからも皆様のご理解とご協力を心から祈念いたします。

地区ロータリー財団 セミナー報告

ロータリー財団委員会

委員長 福家 宏 (八尾中央RC)

日時：2011年8月27日(土) 13:30～16:30

場所：大阪YMCA会館 2Fホール

地区ロータリー財団セミナーはG主催の大切なプログラムで、各クラブの会長、幹事、財団委員長を対象としたロータリー財団についての勉強会です。猛暑の最中でしたが、岡部泰鑑GはもとよりRI理事近藤雅臣PG、災害支援プロジェクト委員長井上暎夫PG、地区ロータリー財団部門顧問横山守雄PG、日本ロータリー平和センター支援委員会常任委員大谷 透PG、高島凱夫GE、地区研修委員会から宮里唯子委員、木村芳樹委員、AG、AGEの皆様、国際奉仕・WCS委員会古澤照明委員長など多数の指導者のご参加を頂きました。司会は境 高彦地区代表幹事が務められました。

岡部泰鑑G

岡部泰鑑Gから次のようなお話がありました。

2013-14年度から財団のしくみが変わりますので、今年度はそれに向けて皆様にも勉強をして頂かなければならないと考えています。次年度にはもう補助金の計画、申請を行わなくてはなりません。ということで、今年度は皆様のご理解を深めて頂くためのセミナーを何度か実施したいと考えていますので皆様よろしくお願い致します。

福家 宏ロータリー財団委員長

ロータリー財団 (TRF) の成り立ち、RIとの関連、目覚ましい発展と奉仕の歴史、財団プログラムの種類と内容、国際ロータリーとロータリー財団とロータリアンとの関係などをお話し致しました。

1. 寄付増進プログラム+ポリオ・プラス部門

杉村雅之財団情報・増進委員長のお話は下記のような内容でした。

ポリオの新規発症状況は、全般的には大きく減少していることが認められるが、その数は調査の都度ある程度の増加が見られることもあり、この疾患の撲滅は容易ではないことを物語っていると思います。

ポリオ撲滅のための「ロータリー2億ドルのチャレンジ」への寄付は順調に進んでおり、現在までの寄付金合計は1億8,510万米ドルに達しています。もう少しですが、皆様のご協力をお願い致します。

2. 財団人道的補助金部門

川田 隆財団人道的補助金委員長は、「ロータリー財団と当地区の補助金」というタイトルで、人道的補助金の解説をされました。

マッチング・グラントと地区補助金の利用方法、特にマッチング・グラントについては今年度は東日本大震災の復興支援にも利用可能であることも含め、補助金の5,000ドルから25,000ドルまでと25,001ドルを超えた場合の競争性について説明されました。その他地区補助

金も含めて今年度の予算、補助金授与のシステム(金額)、報告義務などについての説明の後、東日本震災復興のための補助金の利用方法について説明されました。

3. 教育的プログラム部門

(1) 牧尾晴喜財団奨学金・学友委員長は、国際親善奨学生制度を解説される中で2012-13年度が現行制度での最後の年になることを話されました。そして過去の奨学生が現在どのような形で活動しているかを紹介され、ロータリー平和フェローについて、特に当地区輩出の寺西悦子さんをご紹介されました。また地区内クラブの皆様へ新たな平和フェローとなるべき方の推薦を要請されました。財団月間における卓話に関して協力を約束されました。

(2) 岸上億則研究グループ交換委員長は、ロータリー財団の教育的プログラムとしてのGSE(グループ・スタディー・エクステンジ)とは何かを説明されたあと、その目的と目標について話されました。そして他国に派遣されたチームの活動内容として①職業研修 ②文化研修 ③親睦の機会 について語られ、団長として参加するロータリアンの役割にも触れられました。そして最近の活動報告とともに、今期のスリランカとの交換について、来年度のハンブルクとの交換についてご紹介をされました。

(3) 大谷 透PGは、日本ロータリー平和センター支援委員会常任委員として次のようなお話をされました。ロータリー平和フェロー(応募資格)と、ロータリー平和センターの概略およびICU(国際基督教大学/東京)がセンターの一つに選ばれた経緯について。そしてICUの初代理事長であり、日本初のRI会長であられた東ヶ崎潔氏についてご紹介され、東ヶ崎ダイアログ・ハウスという冠名の施設の所以を語られました。これまで全世界の平和フェローの数は463名です。ICUは建学60周年を記念して世界平和を目指す対話の場所づくりとして「東ヶ崎潔記念ダイアログ・ハウス」の建設に乗り出しました。そこには研究者の寮や国際会議場が設けられており、ロータリー平和フェローシップの発展に寄与することが期待されていますが、ICUはこの施設の建設費の一部2億円の寄付を呼び掛けています。この施設が世界平和を願うロータリーの発展に寄与するものと考えられるところから、ガバナー会は規約第8条に基づき3年間限定で寄付への協力を決定しました。(ただし賛否両論あり)大震災後のことで寄付に異論もあるでしょうが、世界レベルの平和や紛争に関心にはならないで下さい。平和フェローシップの発展のためにご寄付をよろしくお願い致します。(1人2,000円以上)

《休憩時間》DVD「感染症ポリオ 残り1%の闘い」が上映されました

4. FVP(未来の夢計画)フューチャー・ビジョン・プラン

地区財団FVP委員長でもある私からFVPとはどのようなものか、このプランが浮上して2013-14年度実施に至る過程について概要を説明。その目的とするところ、3年間の試験期間、試験地区を紹介し、未来のロータリー財団のために設定された6つの重点項目を紹介しました。①平和と紛争予防/紛争解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生設備 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥経済と地域社会の発展 の6項目です。そして2つの新しい補助金モデル①新地区補助金 ②グローバル補助金とその事例について説明致しました。また新しい制度のもとでロータリー財団の資金を受領するには、地区はロータリー財団により、クラブは地区により「受領資格」を得るべきことにも触れました。そして今年度はFVPをスムーズに受け入れるための研修の機会を設けることをお伝えしました。

5. 東日本震災復興支援

(1)井上暎夫PGは、地区の災害支援プロジェクト委員長として次のようなお話をされました。

当地区には独自の「災害支援プロジェクト」という委員会の管理下で「2660地区災害復興基金」が活用され始めています。この基金は災害支援を希望するロータリアンの皆様の寄付(浄財)から成り立っています。東日本大震災の被害は極めて甚大で今後も継続した支援が必要で、そのためには皆様のご協力も継続的にお願い致します。この基金を災害支援のために活用するのはクラブです。クラブとして活用方法が分からないときは、当委員会にお尋ね下さい。この基金は支援するための資金がクラブ単独では賄いきれない場合に利用出来ます。またロータリー財団の補助金の規定に合わない支援内容についても、利用出来る場合があります。出来るだけ多くのクラブに利用頂くために、受領出来る地区基金には上限が設けられています。また地区基金を用いた支援の内容は全て地区内クラブにG月信などで広報しております。

(2)宮里唯子災害支援プロジェクト副委員長は「災害支援プロジェクトの資金調達」について次のようなお話をされました。(概略しておりますが、ご理解のためには当日の配布資料の方をご参照下さい)

今日ご出席の財団委員長の皆様は、災害支援の方法に関する情報を必ず社会奉仕委員長、国際奉仕(WCS)委員長にお伝え下さい。以下配布資料(早見表形式)に従い、下記のご説明をされました。

- i. 復興支援プロジェクトの資金源…①クラブ/個人の寄付 ②第2660地区基金 ③東日本震災復興基金(財団) ④財団人道的補助金(地区補助金、マッチング・グラント)
- ii. 上記の①②③④について…対象、受付期間、補助額、条件、提出書類、審査機関、所要期間、

申請回数、最終報告書、②③の基金への寄付についての解説

承認件数と金額、申請が却下された事例、申請件数、資金源の予算(残額は潤沢)などの解説

- iii. 社会奉仕活動を行う場合…被災地支援と被災地以外における補助金の種類と金額
- iv. 世界社会奉仕活動を行う場合…被災地には地区基金と東日本震災基金が利用出来る、海外には地区補助金やマッチング・グラントが利用出来る
- v. ②③と地区補助金の申請書式、報告書式の解説

■質問① マッチング・グラントを震災復興支援に用いる場合、当地区内クラブはホスト・パートナーとなり得るか?

(答) 可能だが、被災地のRC/地区がホストパートナーとなることが望ましい。

■質問② 地区基金の利用はクラブ主体とのこと、地区は利用しないと言うことか?

(答) 必ずしもそうではない。クラブとして拠出はしたがプロジェクトが立ち上げられないケースや、プロジェクトの内容によっては地区が利用する。

6. 講評 RI理事近藤雅臣PG

今回のセミナーを通して「未来の夢計画」(訳語の良し悪しはともかく)は、補助金の利用が簡素化されると言うことであって、今日はある程度理解を深められたのではないかと思います。宮里副委員長には震災支援に関してとても分かり易いご説明を頂きました。お金を効果的に利用したいと考えるならば、先ず寄付しなければ始まりません。国難にあって、ロータリアンは手を取り合って助け合わなければなりません。そのためにも「入りて学び、出でて奉仕せよ」ということを実践して頂きたいと思います。

7. 閉会挨拶 高島凱夫GE

本日は近藤RI理事のご臨席のもと、無事地区財団セミナーを終えることが出来ました。ロータリー財団はこれからFVPに向けて変化して行きます。クラブ財団委員会部門では、今後はFVPについての情報が次の年度に継承出来るよう人事について考えて下さい。もう来年の12月には申請書の提出の時期がやって来ます。

震災支援には様々な方法があります。支援プロジェクトをすでにスタートしているクラブもありますが、まだのところは是非始めて下さい。皆様今日はご苦勞様でした。

青少年交換来日学生一泊研修会 3地区合同オリエンテーションの報告

青少年交換委員会

委員長 野村正勝 (箕面中央RC)

7名の当地区来日学生(inbound)が来日してからほぼ1ヶ月経った9月24(土)、25日(日)に第2640地区(和歌山県、大阪南部)、第2680地区(兵庫県)と当地区が箕面観光ホテル&スパガーデンで1泊2日の研修会を開催しました。この会は植田委員長の時から始まっており、今年は当地区が当番でした。前年度の委員会で神田委員のお世話で上記ホテルが決まりましたが、本年度に入り辻村委員と磯田委員が詳細を詰め、日本文化の紹介として「居合い抜き」と「人形浄瑠璃」を準備しました。そして箕面散策や大衆演劇の観劇がfeatureとして組み込まれました。



来日学生は第2640地区から女子6名、第2680地区からは女子2名、男子1名、当地区から全員参加で、女子5名、男子2名 計16名で、日本の交換経験者(ROTEX)も多く参加しました(14名)。当地区では委員会メンバーが7名、元委員長経験者2名で第2680地区ではカウンセラー、ホストファミリーが9名、それにガバナー・エレクト、ノミニーが参加され、第2640地区では委員会メンバーが4名参加されました。総勢59名でした。

初日は午後2時半からスパガーデンの5階の大広間で開会式を行い担当地区の委員長挨拶の後、来日学生の自己紹介を日本語でももらい、幹事の司会でロータリアンやホストファミリー、ROTEXの紹介の後、最初の「日本文化体験」として居合い演武を行いました。大阪大淀RCの井本氏が武道と武術の違いを述べた後、早速真剣を使い立ち技、座り技等の演武をされました。これには来日学生が大いに興味を示し、パワーポイントで日本刀の作り方を示した後、真剣の表面の模様を彼らに直に示したので大いに盛り上がりました。この後、各自ホテルにチェックインをしました。夕食はバイキング。その後、温泉に入り(ここで来日学生は異文化体験をしたようです)、8時から地区別でオリエンテーションを行いました。当地区ではROTEXのメンバーが来日学生の悩みを聞き助言



をあたえるといういつもの形式を取りました。10時就寝で無事研修会の日が過ぎました。

翌日も晴天で早い朝食を取り(午前8時20分まで)、その後来日学生、ROTEX全員で箕面の大滝まで歩いて森林浴をしました。これは好評でした。滝付近には猿が一匹も居なかったので残念がる学生も居ました。第二の「日本文化体験」として能勢人形浄瑠璃 鹿角座の皆さんが「祝い酒」を演じられその後、来日学生を舞台に上げて実際人形を三人一組で演じさせたので、彼らは大いに興奮しました。人形を操り舞台下まで降りてロータリアン相手に演ずる組も出るほどでした。

お昼はカレーライスを頂き、2階のスパガーデンの大衆演劇を皆で1時間ほど見てから、閉会式に臨みました。来日学生たちの中には大衆演劇の粗筋は分かったと頷くものも居ました。勘がいいのでしょうか。

閉会式では第2680地区の石丸ガバナー・エレクトにご挨拶を頂き、来日学生の感想も聞きました。“Japanese culture is cool”が主たる印象。その後、皆で集合写真を撮り散会しました。このグループは来年4月に広島方面の旅行を一緒にします。



新世代奉仕部門の正副委員長会議が、2011年10月8日(土)に大阪科学技術センター 中ホールにおいて、岡部泰鑑ガバナー、大谷透新世代奉仕担当パスト・ガバナー、矢橋弘嗣ガバナー補佐、境高彦代表幹事、西上博幸研修委員のご出席を頂き、青少年活動委員会、各クラブの新世代奉仕部門担当をあわせ78名の参加にて開催されました。

ガバナーから、5番目の奉仕部門として独立した形で、名称も新たにした奉仕活動として、30歳までの若者に、ロータリアンとして接してゆく姿勢、また地区としての取り組みについてのお話を頂き、委員長より、この会議の趣旨や地区の青少年活動委員会がどのような理念の下、ライラやニコニコキャンプを主催しているかを話した上で、協議に入りました。

各クラブには事前に

1. 新世代奉仕が追加されクラブ内での扱いは変わったか
2. クラブにおける青少年活動事業の実施したものの、計画したものを教えてください
3. 地区委員会へのご意見を

という3つの項目でアンケートを実施いたしました。

変化に関しては、これまででも取り組んでいて、変化無く取り組むという回答が多かったのですが、これを機に、新世代奉仕委員会を新設されたクラブも複数あり、重要なプログラムであるという認識が広まりつつあるという回答や、クラブの奉仕事業全体の名称を新世代奉仕とされたクラブもありました。

地区委員会へのご意見として、子どもを虐待などから守る取り組みはないのか、新世代奉仕を積極的に行うために、ロータリーが直接係わる青少年の意識調査の資料がほしい、事業活動の実例がほしい等の意見が寄せられました。事業例の紹介では、各クラブが多くすばらしい奉仕活動を行っておられる中から、5つのクラブに発表して頂きました。

まず大阪フレンドRCより宮城県気仙沼の中でも孤立感が強い大島へ、子どもから子どもへ心のこもったプレゼントを行うプロジェクトの実施を予定されておられることが発表され、大阪難波RCからは、昨年のライラをホストし、つながりの出来た、関西大学の学生80名について7月と8月にボランティアとしての派遣を企画し同行された実例を直に見ることで、自然の力の強大さ、現地の方の復興に向けた力強さ

を感じたことなど、若者が感じ取ったことなどを発表されました。この試みは、11月にも計画していることもお聞きしました。八尾RCからは、市内小中学校15校の児童生徒会の代表3名ずつのリーダー研修への協力を長年つづけておられることや、不登校児の野外活動を企画し、30名程度の児童中に数名の不登校児を参加させる取り組みをされ、これらの児童が次学期から登校されるようになったという報告もされました。また、新任の教師71名への講話など多くの取り組みが紹介されました。東大阪RCからは、突然の指名にもかかわらず、RACの活動支援やフォーラム開催のお話を、大阪東RCからは、世界各国からの留学生による200名の聴衆を集めたスピーチコンテストを開催したお話を頂きました。2011年7月30日から8月1日に吹田江坂RCのホストで行われた、ニコニコキャンプが、成功裏に終わられたことも報告されました。

最後に大谷新世代奉仕担当パスト・ガバナーより講評を頂き閉会いたしました。

アンケートにご協力頂いた皆様、ご参加頂いた皆様に感謝して、報告といたします。

地区大会へのお誘い

地区大会委員会

委員長 **光 信 昌 明** (大阪城南RC)

本年度の地区テーマは、「見直しをすすめ 新たな第一歩を」です。

- ①今年度大会の特徴として、「ロータリークラブの大会」であることに着目して構成しました。
- ②第一日目「見直しを進める」ために、第2680地区パスト・ガバナーの深川氏による「ロータリーの原点」の受講や、「理想の米山奨学生像」を探り、また新入会員には、若林パスト・ガバナーの研修を受けていただきます。
- ③第二日目「新たな第一歩を踏み出していただく」一助として、RI研修リーダーの中村靖治(やすはる) RI会長代理のRI現況報告や京都大学大学院の中西輝政教授の講演を聞いていただきます。
- ④RI会長代理歓迎晩餐会は、関西室内楽協会のメンバーによる演奏などを楽しみ、歓迎の意を尽くし

たいと思います。

- ⑤家族の集いは、大阪歴史博物館を訪れ、笑いながら楽しく大阪について学んでいただけるよう工夫しております。
- ⑥友愛の広場は、一日目は会員相互の親睦を中心にし、二日目は地区委員会活動の報告を中心しております。特に地区広報委員会の活動は、NHK大阪ホール1階を使用して、一般の方の目に触れる形で、広報活動をしていただきます。
- ⑦本年度は東日本大震災発生に鑑みて、大きなエンターテイメントを控えました。
- ⑧11月11日(金)は、上本町のシェラトン都ホテル大阪、翌12日(土)は、谷町四丁目のNHK大阪ホールで、お待ちしております。

2011～2012 年度 RI 2660 地区 地区大会

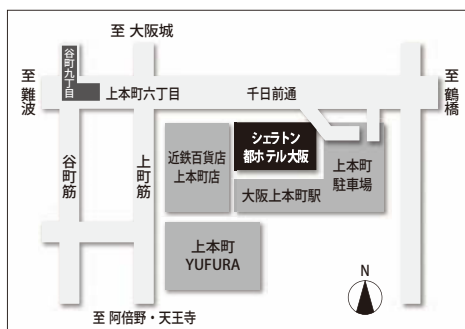
第1日目 シェラトン都ホテル

- 11月11日(金) 13:00～ 開会式
14:10～ セッション I. II. III / 14:30～ 家族の集い
18:00～ RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

第2日目 NHK大阪ホール

11月12日(土) 13:00～ 本会議

[シェラトン都ホテル大阪]
大阪市天王寺区上本町 6-1-55
Tel: 06-6773-1111 (代表)



大阪市営地下鉄谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅より徒歩5分。近鉄「大阪上本町」駅直結。
東梅田駅より「谷町線」で約15分、なんば駅より「千日前線」で約5分。
阪神高速環状線 道頓堀出口より約5分。

[NHK大阪ホール]

大阪市中央区大手前 4-1-20
Tel: 06-6937-6000 (直通)



地下鉄谷町線「谷町四丁目」駅より2番出口から徒歩約3分。
地下鉄中央線「谷町四丁目」駅9番出口すぐ。
<お車をご利用の方>
阪神高速13号東大阪線 法円坂出口(東行き)すぐ。地下有料駐車場(80台)。

2011～12年度のための 地区協議会 会計報告

代表幹事 境 高彦 (大阪城南 RC)

開催日：2011年4月23日(土)

会場：大阪国際会議場

ホストクラブ：大阪城南ロータリークラブ

■ 収入の部

会 員 数	負担額(①)	クラブ数(②)	収入額(①×②)
29名以下のクラブ	90,000	21	1,890,000
30名以上のクラブ	110,000	61	6,710,000
利 息			1
	合 計	82	¥8,600,001

■ 支出の部

項 目	内 訳	金 額	項目別小計	内 訳
会場費	会 場	3,723,366		本会議場・部門別会議場他
	音響・照明	1,027,470		本会議場音響・照明
	備 品 等	85,050		タスキ
	お 茶	244,265		部門別用(ペットボトル)他
	小 計		5,080,151	
会合費	室料等	348,357		実行委員会
	小 計		348,357	
印刷費	プログラム	656,880		当日配布用
	資料その他	143,086		部門別用 アテンダンスカード他
	小 計		799,966	
記録費	記録冊子	2,128,635		添付DVD含他写真
	小 計		2,128,635	
謝礼金	看護師等	40,000		看護師・ピアノ礼金
	昼 食	106,000		食券
	小 計		146,000	
雑 費	その他費用	14,115		振込手数料
		15,270		通信費
		10,780		消耗品
		34,860		損害保険料
	小 計		75,025	
	合 計		8,578,134	

収入の部(①)	支出の部(②)	残 額(①-②)
¥8,600,001	¥8,578,134	¥21,867

2011-12年度のための地区協議会 会計決算を平成23年8月1日に大阪城南ロータリークラブ事務局にて開催し、帳票類、領収書等を精査した上で、上記の通りであることを報告します。

平成23年8月2日

実行委員長 畑田 豊

代表幹事 中谷 佳正

会計 井上 裕貴

米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2011年8月末	全国寄付金合計額	272,079,479円 (前年度比8.06%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	12,148,500円 (前年度比16.28%減)
2011年8月末	全国寄付金合計トップ10	
	1. 第2750地区	16,592,080円
	2. 第2770地区	16,460,000円
	3. 第2760地区	15,679,000円
	4. 第2590地区	14,916,000円
	5. 第2580地区	13,749,250円
	6. 第2710地区	12,707,700円
	7. 第2650地区	12,149,230円
	8. 第2660地区	12,148,500円
	9. 第2690地区	11,576,205円
	10. 第2790地区	10,605,400円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2011年8月)

氏名	回数	クラブ名
芳田 至弘	5回目	東大阪東 RC
林 武	1回目	枚方 RC
井上 良典	3回目	枚方 RC
金光 聖中	1回目	枚方 RC
大東 将啓	1回目	枚方 RC
大野 榮	3回目	枚方 RC
新庄 幸一	3回目	枚方 RC
山中 脩自	2回目	枚方 RC
家高 健志	3回目	枚方 RC
吉原 博	1回目	枚方 RC
大野 智子	4回目	守口 RC
小嶋 敦	1回目	大阪西北 RC
西村 園	8回目	大阪西北 RC
杉本 侃	3回目	大阪西北 RC
高林 辰行	8回目	大阪西北 RC
田中 潤治	7回目	大阪西北 RC
妙中 茂樹	2回目	大阪西北 RC
西川 正一	2回目	大阪淀川 RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年8月)

クラブ名	回数
枚方 RC	23回目
大阪西北 RC	40回目
大阪淀川 RC	31回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2011)

西田 未彦	大阪中之島 RC	8/19
岡本 啓吾	大阪中之島 RC	8/19
林 武	枚方 RC	8/31
澤村 繁	枚方 RC	8/31
田邊 誠	枚方 RC	8/31
山中 脩自	枚方 RC	8/31
玉田 義宣	大阪西北 RC	8/31

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011)

寺西 太一	4回目	東大阪東 RC	8/5
井上 家昌	4回目	東大阪東 RC	8/5
安達 昌弘	1回目	大阪中之島 RC	8/19
早瀬 道圓	2回目	大阪中之島 RC	8/19
広田 甫	2回目	東大阪東 RC	8/26
常楽寺 善雄	7回目	東大阪東 RC	8/31
朝田 正治	1回目	東大阪東 RC	8/31
安積 曜夫	1回目	枚方 RC	8/31
堀岡 晃	1回目	枚方 RC	8/31
井上 良典	1回目	枚方 RC	8/31
磯田 隆平	1回目	枚方 RC	8/31
門前 武彦	1回目	枚方 RC	8/31
三村 雄太郎	2回目	枚方 RC	8/31
宮田 久嘉	2回目	枚方 RC	8/31
三好 國司	1回目	枚方 RC	8/31
森本 匡胤	1回目	枚方 RC	8/31
小野 忠幸	1回目	枚方 RC	8/31
小野 俊文	1回目	枚方 RC	8/31
諏訪 正美	1回目	枚方 RC	8/31
寺嶋 三郎	1回目	枚方 RC	8/31
古市 仁	2回目	大阪西北 RC	8/31
田中 潤治	3回目	大阪西北 RC	8/31
尾下 千明	1回目	大阪西北 RC	8/31

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2011)

小山 登	大阪西北 RC	8/5
北村 譲	大阪中之島 RC	8/19
石田 由美子	大阪リバーサイド RC	2010 11/19

災害支援プロジェクト報告(第5回) 災害支援プロジェクト 委員長 **井上 暁夫** (千里RC)

前回は9月14日までの経過について御報告いたしましたが、10月17日迄は下記の通り推移しています。各クラブよりのアンケートの回答を掲載いたしております。台風12号災害への対応は各地区で対応することとなりましたが、今のところ隣接、和歌山県・奈良県地区ガバナーからの支援要請は来ておりませんので各クラブ内にて友好クラブ又はメンバー間にて交流がある場合は各クラブの裁量にてご支援下さい。

(1) 地区ガバナー会への寄付金について

＜アンケート結果一覧＞

	クラブ名	クラブ希望	送金額 (円)		クラブ名	クラブ希望	送金額 (円)		クラブ名	クラブ希望	送金額 (円)
1	大東	2	6,529,790	29	大阪平野	2	326,562	56	大阪天王寺	2	547,212
2	大東中央	2	1,765,200	30	大阪本町	2	229,476	57	大阪帝塚山	2	547,212
3	東大阪	1		31	大阪イブニング	1-イ		58	大阪東南	1	
4	東大阪中央	1		32	大阪城南	1		59	大阪鶴見	2	2,074,110
5	東大阪東	1		33	大阪城東	1-イ		60	大阪梅田	2	2,048,515
6	東大阪みどり	2	229,476	34	大阪柏原	2	264,780	61	大阪梅田東	2	317,736
7	東大阪西	1		35	大阪北	2	2,647,800	62	大阪うつぼ	2	410,127
8	枚方	1		36	大阪北梅田	1		63	大阪淀川	2	576,934
9	茨木	2	220,650	37	大阪御堂筋	1		64	大阪ユニバーサルシティ	1	
10	茨木東	2	1,300,070	38	大阪南	1		65	千里	1	
11	茨木西	1		39	大阪中之島	1-イ		66	千里メイプル	2	247,128
12	池田	1-ロ		40	大阪難波	2	388,344	67	摂津	1	
13	池田くれは	2	291,258	41	大阪なにわ	1-イ		68	四條畷	1	
14	門真	1		42	大阪南西	1-イ		69	新大阪	×	
15	交野	2	395,405	43	大阪ネクスト	1		70	吹田	2-一部返金	1,488,766
16	香里園	2	37,069	44	大阪西	2	2,647,800	71	吹田江坂	1-ロ	
17	くずは	1		45	大阪大手前	2	617,820	72	吹田西	2	708,728
18	箕面	2	441,300	46	大阪大淀	2	476,604	73	高槻	1	
19	箕面中央	1		47	大阪リバーサイド	2	368,927	74	高槻東	1	
20	守口	2	414,822	48	大阪咲洲	1		75	高槻西	1	
21	守口イブニング	1		49	大阪西北	×		76	豊中	1	
22	寝屋川	2	1,059,120	50	大阪西南	1-イ		77	豊中南	2	291,258
23	大阪	1-イ		51	大阪船場	1		78	豊中-大阪国際空港	2	4,244,549
24	大阪中央	2	366,279	52	大阪心斎橋	1		79	豊中千里	1	
25	大阪堂島	2	273,606	53	大阪城北	1-イ		80	八尾	1	
26	大阪フレンド	1		54	大阪そねざき	×		81	八尾中央	1-イ	
27	大阪東	1-イ		55	大阪天満橋	2	2,029,980	82	八尾東	1	
28	大阪東淀ちやまち	1									
									合 計		36,824,413

(イ) アンケート回答結果について

9月22日〆切のアンケート結果の集計が出来ましたのでお知らせします。

ガバナー会からの返金 72,845,511円

各クラブへの返金 36,824,413円

地区に繰入 36,021,098円

地区に繰入いただいたクラブにお礼申し上げます。

※アンケート:クラブ希望欄2は各クラブより返金を希望されたクラブです。(35クラブ)

(ロ) 地区災害支援プロジェクトでは、各クラブよりの数多くの支援にお応えするために、1クラブ当たりの上限金額を70万円から200万円に引き上げました。また、原則1クラブ1回限りをプロジェクトによっては別途考慮させていただきます。

(ハ) 地区から地区への支援活動

2520地区へ 1,000万円

2530地区へ 500万円

の支援金を送ることいたしました。

(2) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況 (2011年9月15日～10月17日)

地区クラブ名および友好クラブ名 (国名)	寄付金 (円)	備考
大阪城南 RC	111,793	
交野 RC	330,000	
大阪城南 RC	12,074	
2360地区 (スウェーデン)	61,254	青少年交換関連
合 計	515,121	

(ロ) 地区基金申請案件承認状況 (2011年9月15日～10月17日)

クラブ名	プロジェクト内容	総 額 (円)	内地区拠出基金 (円)
大阪東南 RC	ボランティア活動	981,400	700,000
委員会主導 1	学校用家具備品寄贈	976,340	976,340
大阪天王寺 RC	学童保育施設のエアコン設置	2,057,899	700,000
委員会主導 2	教育資材寄贈	665,228	665,228
大阪御堂筋 RC	ローターアクト奉仕活動の交通費補助	457,500	230,700
	合 計		3,272,268

(3) 現在の地区寄付金残高 (10月17日現在)

44,863,876 円

(イ) ①前回残高	11,599,925円	}	48,136,144 円
②ガバナー会返金のうち地区繰入額	36,021,098円		
③寄付金 (9/15～10/17)	515,121円		

(ロ) 地区基金申請案件拠出額 (9/15～10/17)

3,272,268 円

2011年9月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	9 月 月 末 会 員 数		入 会 者 数 累 計	退 会 者 数 累 計	増 減	例 会 数	出 席 率	ホ ー ム ク ラ ブ 出 席 率	I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	9 月 月 末 会 員 数		入 会 者 数 累 計	退 会 者 数 累 計	増 減	例 会 数	出 席 率	ホ ー ム ク ラ ブ 出 席 率	
			全 員	女 性										全 員	女 性							
I M 第 1 組	池田	38	37	3	0	1	-1	4	76.72	71.54	I M 第 5 組	大阪中央	50	53	5	3	0	3	4	90.05	76.36	
	池田くれは	29	29	1	0	0	0	3	84.11	84.11		大阪堂島	30	33	1	3	0	3	3	89.90	89.90	
	箕面	27	25	1	0	2	-2	4	90.02	87.75		大阪北	189	192	0	4	1	3	4	81.44	70.20	
	箕面中央	23	23	0	1	1	0	4	89.80	87.80		大阪北梅田	49	51	3	2	0	2	3	74.51	65.36	
	豊中	44	44	3	2	2	0	4	88.50	81.52		大阪西	71	71	0	1	1	0	3	91.04	84.13	
	豊中南	31	32	1	1	0	1	5	74.09	70.90		大阪大淀	53	57	0	4	0	4	5	84.56	73.14	
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	0	0	0	4	67.90	66.65		大阪リバーサイド	35	36	5	1	0	1	5	86.09	72.29	
	豊中千里	35	37	3	2	0	2	4	93.51	88.27		大阪西北	54	56	0	2	0	2	4	91.75	81.84	
	小計	247	247	12	6	6	0		83.08	79.82		大阪そねぎき	34	40	25	6	0	6	4	100.00	93.59	
I M 第 2 組	茨木	26	27	5	1	0	1	4	92.15	83.41	大阪梅田	36	34	0	0	2	-2	4	83.24	76.96		
	茨木東	41	41	4	0	0	0	4	85.45	66.18	大阪梅田東	32	33	0	1	0	1	4	83.32	74.23		
	茨木西	29	29	6	0	0	0	4	88.79	66.38	大阪ユニバーサルシティ	28	28	3	0	0	0	3	82.05	75.64		
	千里	38	38	0	1	1	0	4	92.64	81.67	小計	661	684	42	27	4	23		86.50	77.80		
	千里メイプル	26	24	2	0	2	-2	4	84.54	80.41	大阪	258	265	0	11	4	7	4	74.68	59.59		
	摂津	38	40	0	2	0	2	4	90.31	84.83	大阪東	117	122	0	5	0	5	5	92.36	76.56		
	吹田	61	61	6	0	0	0	5	97.97	92.50	大阪東淀ちゃやまち	31	32	3	1	0	1	3	89.92	80.00		
	吹田江坂	39	40	3	1	0	1	4	92.64	80.65	大阪城東	47	47	5	0	0	0	4	81.97	75.71		
	吹田西	48	48	1	0	0	0	3	100.00	93.99	大阪中之島	27	28	2	1	0	1	5	94.11	79.59		
	高槻	45	45	4	0	0	0	4	92.40	83.73	大阪大手前	38	38	3	0	0	0	4	89.21	80.82		
	高槻東	39	39	0	0	0	0	4	94.10	86.80	大阪城北	55	55	2	0	0	0	3	76.50	75.84		
	高槻西	23	23	0	0	0	0	4	94.57	78.26	大阪天満橋	67	67	0	0	0	0	4	89.13	83.96		
小計	453	455	31	5	3	2		92.13	81.57	大阪鶴見	32	34	0	2	0	2	4	88.50	83.17			
I M 第 3 組	大東	43	45	0	2	0	2	4	100.00	87.84	大阪淀川	34	34	2	0	0	0	4	93.37	85.72		
	大東中央	28	27	10	0	1	-1	3	90.35	75.32	新大阪	35	36	0	1	0	1	4	77.78	71.53		
	枚方	41	41	0	0	0	0	3	97.30	91.89	小計	741	758	17	21	4	17		86.14	77.50		
	門真	30	33	4	3	0	3	4	90.15	78.79	大阪フレンド	12	19	3	7	0	7	3	91.90	80.12		
	交野	34	33	1	0	1	-1	5	78.79	75.15	大阪本町	26	26	2	0	0	0	4	84.53	79.18		
	香里園	17	17	0	0	0	0	4	95.21	78.72	大阪御堂筋	34	34	0	0	0	0	4	86.36	73.48		
	くずは	56	57	0	1	0	1	3	77.25	69.78	大阪南	132	137	0	6	1	5	4	84.43	70.58		
	守口	44	44	3	1	1	0	4	80.25	72.41	大阪難波	44	45	0	1	0	1	5	91.68	75.38		
	守口イブニング	26	26	4	1	1	0	5	85.39	78.46	大阪なにわ	28	28	2	0	0	0	4	85.44	77.77		
	寝屋川	39	39	5	0	0	0	4	93.43	82.24	大阪南西	16	16	3	0	0	0	4	96.55	90.84		
	四條畷	12	13	0	1	0	1	4	79.18	77.08	大阪西南	86	92	15	6	0	6	4	98.86	77.45		
	小計	370	375	27	9	4	5		87.94	78.88	大阪船場	41	41	0	0	0	0	3	95.00	93.00		
I M 第 4 組	東大阪	66	66	0	1	1	0	4	89.98	80.26	大阪心斎橋	38	38	0	0	0	0	4	97.71	91.35		
	東大阪中央	36	36	0	0	0	0	3	83.14	67.61	大阪うつぼ	33	34	4	1	0	1	4	93.42	82.62		
	東大阪東	64	64	6	1	1	0	5	79.58	69.53	小計	490	510	29	21	1	20		91.44	81.07		
	東大阪みどり	27	27	1	1	1	0	5	80.00	65.71	大阪平野	37	37	3	0	0	0	5	96.70	80.59		
	東大阪西	35	35	0	0	0	0	3	96.63	60.61	大阪イブニング	16	17	4	1	0	1	5	78.82	70.59		
	大阪柏原	30	30	3	0	0	0	4	87.48	80.12	大阪城南	55	55	0	0	0	0	4	100.00	90.43		
	大阪ネクスト	17	17	6	0	0	0	4	76.50	47.00	大阪咲洲	19	19	1	0	0	0	4	85.53	68.42		
	八尾	73	74	0	2	1	1	3	95.67	69.40	大阪天王寺	60	60	0	0	0	0	4	93.78	83.55		
	八尾中央	19	18	0	0	1	-1	4	84.72	80.03	大阪塚山	58	60	4	3	1	2	4	85.84	73.29		
	八尾東	23	23	3	0	0	0	4	77.14	70.00	大阪東南	50	50	0	0	0	0	4	96.00	71.00		
	小計	390	390	19	5	5	0		85.08	69.03	小計	295	298	12	4	1	3		90.95	76.84		
	合計	クラブ数	7月期初 会員数	月 末 会 員	女 性 会 員	入 会 者 数 累 計	退 会 者 数 累 計	増 減		平均 出 席 率	平均 出 席 率		クラブ数	7月期初 会員数	月 末 会 員	女 性 会 員	入 会 者 数 累 計	退 会 者 数 累 計	増 減		平均 出 席 率	平均 出 席 率
	82	3647	3717	189	98	28	70		87.9	77.8												

＜お知らせ＞

ガバナー・エレクト業務開始のご案内 ガバナー・エレクト 高島 凱夫 (大阪中之島RC)
次年度地区代表幹事 村橋 義晃 (大阪中之島RC)

10月1日よりガバナー・エレクト業務をスタートいたしました。

- 所在地 〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話:06-6264-2660 FAX:06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp
- 執務時間 月曜日～金曜日 9:30～17:00 ※土・日・祝は休ませていただきます。
- 事務局員 納多 寿恵子

文庫通信 (289号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演より

- ◎「有田の伝統を語る(対談)」 14代 酒井田柿右衛門 2011 7p (D.2740)
- ◎「夢を創る」 安藤忠雄 2011 4p (D.2580)
- ◎「一隅を照らす」 半田孝淳天台座主 2011 6p (D.2600)
- ◎「遺言書を書いて千日回峰行」 上原行照師大阿闍梨 2011 5p (D.2600)
- ◎「いくつもの壁にぶつかりながら『19歳・児童売春撲滅への挑戦』」 村田早耶香 2011 4p (D.2780)
- ◎「日本のこれから、日本人のこれから」 藤原正彦 2011 16p (D.2530)
- ◎「アジア大交流時代の幕開けと日本人」 浜田和幸 2011 7p (D.2560)
- ◎「ソフトパワー大国を目指して～山形からの可能性」 結城章夫 2011 7p (D.2800)
- ◎「CO₂貯留研究の現状と課題」 村井重夫 2011 12p (D.2800)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

磯 田 勝 信 会 員 (くずはRC)

2011年9月19日逝去(享年76歳)
理事、出席委員長、社会奉仕委員長、環境保全委員長
広報委員長、職業分類委員長
米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

横 井 英 朗 会 員 (大阪西南RC)

2011年10月4日逝去(享年77歳)
幹事、青少年担当理事、プログラム委員長、ロータリー情報委員長
広報雑誌委員長、雑誌委員長
米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

瀧 野 和 子 会 員 (大阪イブニングRC)

2011年10月7日逝去(享年61歳)
幹事、社会奉仕委員長、職業奉仕委員長、クラブ管理委員長
ポール・ハリス・フェロー

山 畑 雅 裕 会 員 (八尾RC)

2011年10月20日逝去(享年86歳)
会長、幹事、副会長、会員増強委員長、青少年奉仕委員長
社会奉仕委員長、職業奉仕委員長、越中八尾友好委員長
国際教育基金委員長
米山功労者
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務局必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | |
|----------|-------|
| ・ガバナー | 岡部 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部 泰鑑
地区代表幹事	境 高彦
地区副代表幹事	渡邊 邦雄
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	納多寿恵子

●休日

土曜、日曜、祝日
 年末年始
 2011年12月29日(木)～
 2012年1月4日(水)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館6階
 TEL: 06-6264-2660
 FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
 電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
 Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp